

# 事故、事件、災害発生報告書

## 学生事故の【記入例】

【報告書記入者】  
①実験実習中・その他正課中は  
授業担当教員/指導教員  
②課外活動中は顧問教員又は事務職員  
③通学中は担任/学生生活委員 が記入(様式1)

報告ルート **発生部署** → 部局内担当部署 → 総務課長 → 環境安全を担当する理事 → (学 長)  
 (部署名: ○○地区学生生活係) (環境安全管理室長)  
 ↳ 部局内関係先、その他関係部署(注3) → 環境・安全衛生委員会(委員長) → 環境安全管理センター副センター長、その他関係部署

20XX 年 \* 月 \* 日作成  
 発生部署・部局 職名 氏名 **↑ 提出日を記入 報告書記入者**

区 分	事故・事件・災害		事故等の種類	交通事故・実験事故・課外活動事故・火災・器物等損壊・不審者・犯罪・その他( )		
発生日時	20XX 年 * 月 * 日 午前・午後 * 時 * 分		事故等の詳細な内容・状況(作業内容、共同作業者など)		病院・警察等への連絡・対応	
発生場所	**研究室、グラウンド、(学外の場合は)**大学武道場など		【例】 ・通学中: 学校へ自転車に向かう途中転倒し、足首を捻挫した。 他者を巻き込んだ転倒ではなく、自転車も破損していない。 ・(○○サークル名)の課外活動中: 受け身を取る際に左足の小指を巻き込み骨折した(サークル名も記載)。 ・実験実習中・その他正課中: シリンジを抜こうとした際にシリンジが割れ、左手の指を切った。		【例: 病院の場合】 ・病院で治療をしてもらった。 ・救急車で病院に搬送された。 【例: 警察の場合】 ・警察に相談する予定。 ※記載することがない場合は「特になし」でOK	
被災者	氏 名	* * * *				
	学籍番号	*****				
	生年月日	昭和・平成 * 年 * 月 * 日 ( * 才 ) 男・女				
	所 属	農学部 * 学科				
	学 年	学・修・博 * 年・その他( )				
	職 名	学生				
	連絡先	現住所	*****			
		電話 (携帯・内線)	*****	メール	*****	
	発生状況	実験実習中・その他正課中・課外活動中・通学中 勤務中・勤務時間外・休憩中・通勤中		発生原因		
	怪我等の状況	擦過傷・切傷・挫傷・刺咬傷・捻挫 打撲・骨折・熱傷・薬傷・中毒 その他( ) 被災部位: 左手小指、右膝など具体的に記載 通院・入院 * 日、全治見込 * 日・週		【例】 ・雨が降っていて急いでおり、注意力が散漫になっていた。 ・バランスを崩した際に、倒れることを選択せず、無駄に踏ん張ってしまった。 ・無理に抜こうとしたため、力を入れすぎてシリンジを割ってしまった。		
保険加入等	学生災害保険加入 (有・無) 学生災害保険適用 (可・不可) 労働災害申請 (有・無) この欄は記入不要 休業の必要性 (有・無) 事務職員が記入 休業の必要性 (有・無)		再発防止策及び講じた措置			
初診病院又は保健管理センター		事故の再発防止のために講じた策や措置を記入		備考 ※留意点、問題点、苦情、影響等を記入		
病院名 **病院、保健管理センターなど (労災指定、労災指定外)		【例】 ・雨が降っていても焦らずに対処する。 ・準備体操に指の柔軟も盛り込む。 ・無理に引き抜かず、スムーズに動くようにしてから引き抜くよう 学生指導をさらに徹底する。また、プラスチック製のシリンジに置き換える。				
住 所 *****		※再発防止策を検討中の場合(検討内容の方向性、検討完了予定日を記載)				
電話番号 *****						

(注)発生状況及び再発防止策を部局長まで即座に必ず報告すること。

2. 要項第4条第3項に基づき、器物・実験用具による事故(怪我等)の場合は器物等がわかる写真等を添付すること。

3. 事故等の内容が学生に関わる場合は学務課へ、職員に関わる場合は人事課へ、施設・設備に係る場合は財務課及び施設整備課へ併せて報告すること。